

## 高知版CORE遠隔教育ネットワーク構想

## 背景

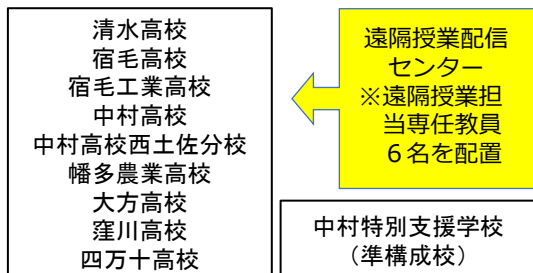
高知県西部に位置する幡多地域等の高等学校は、少子化や郡外への生徒流出による生徒減少で小規模校化し、多様かつ質の高い高等学校教育を実施するうえで課題が顕著となってきている。また、この地域は都市部から遠隔地にあり、高知市内への進学は保護者の経済的負担も大きい。

## 目的

幡多地域等の高等学校に遠隔教育ネットワークを構築し、個々の高校の教育水準の維持・向上から、ネットワーク全体としての教育水準の維持・向上へと取組を発展させ、「地域間格差を解消し生徒の進路希望を実現する」という高知版遠隔教育の目指す姿を実現させる。

## 1. 実施体制

## (1) 構成校



地域課題探究学習による幡多地域等への郷土愛・地域貢献意欲の醸成

## (2) 遠隔授業推進プロジェクトチーム (各課等の役割分担)

- ・令和元年度に、教育次長をリーダーとして担当各課長等からなる遠隔授業推進プロジェクトチームを設置し、遠隔授業に係る事項について一体的に取り組む。

## (3) 教育センター内体制

教育センター 次世代型教育推進部

- ・遠隔授業の推進に関すること (教育課程・校時程・時間割の調整等)
- ・学校間の遠隔授業の推進に関すること (教育課程の編成・実施含む)
- ・文部科学省委託事業に関すること
- ・プロジェクトチームの事務処理に関すること

連携

遠隔授業配信センター 岡豊高校教育センター分室

- ・遠隔授業や補習の配信
- ・遠隔授業における指導法の研究

幡多・四万十地域



## 2. 取組状況

## (1) 遠隔事業

- ①配信拠点型遠隔授業を実施 (8校、のべ20講座、56単位)
- ②単位認定を伴う学校相互型遠隔授業 (「数学Ⅱ」「書道Ⅰ」)
- ③分野を限定した学校相互型遠隔授業 (「情報Ⅰ」「農業と環境」)
- ④多様な遠隔補習・キャリア教育の実施
- ⑤地域課題探究成果発表会の開催

## (2) コンソーシアム事業

- ①幡多・四万十地域高校教育地域協働コンソーシアム会議の設置
- ②地域コンソーシアムの構築
- ③「高校魅力化評価システム」を利用し、高校と地域の活動を評価
- ④高等学校の取組について市町村や産業界等への理解促進
- ⑤幡多・四万十地域広域での人材育成に向けた取組の検討



農場紹介の相互配信(農業)

## 3. 今年度の成果 (○) と今後の課題 (△)

## (1) 遠隔事業

- ニーズに応じた遠隔授業の実施
- 書道：○単位認定を伴う遠隔授業を継続
- 情報：△受信側教員との連携、見取り等の研究を継続
- 多様な遠隔補習、キャリア教育による進路意識の醸成等
- △専門高校の強みを生かした学校相互型遠隔授業
- 情報：○分野(プログラミング)を限定した遠隔授業を実施
- △免許外教科担当制度の解消にはならない

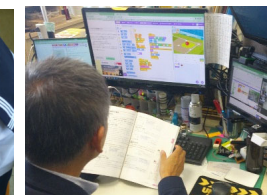
→農業：○分野(スマート農業)を限定した遠隔授業を実施  
△学校間だけでは調整が難しい

## (2) コンソーシアム事業

- 地域における教育や人材育成に関する相互理解の促進
- 地域の県立学校と産業界、市町村等が協働した取組の推進
- △高知版CORE遠隔教育ネットワーク構想のうち、学校外の地域資源を活用した探究的な学びの推進による教育の高度化・多様化の推進
- △幡多・四万十地域広域での人材育成に向けた取組の実施



受信側の様子(書道)



配信の様子(情報)